

1	(1) 21	(2) 41	(3) 110	(4) 40
	(5) 9	(6) 10	(7) 58 (m)	(8) 3 (秒)
	(9) 6 (dL)	(10) 7 (本)	(11) 40 (はい)	(12) 1900 (円)

2	(1) 13 才	(2) 4 才
---	----------	---------

3	(1) 木 曜日	(2) 土 曜日
---	----------	----------

4	(1) 26 cm	(2) 20 cm
---	-----------	-----------

5	(1) 6 枚	(2) 16 通り
---	---------	-----------

6	(1) 39	(2) 5 (こ)
---	--------	-----------

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10

1 (4) $\frac{2+8+3+7+4+6+1+9}{=10+10+10+10=40}$

(5) $3+4-5+6-7+8$
 $=3+4+6+8-5-7=9$

(7) $6000\text{cm}-2\text{m}=60\text{m}-2\text{m}=58\text{m}$

(8) $2\text{分}=120\text{秒}$ $123\text{秒}-120\text{秒}=3\text{秒}$

(9) $3\text{L}=30\text{dL}$ $30=6\times 5 \rightarrow 6\text{dL}$

(10) 右の図の線分図で、
 $11+3=14$ (本)
 より、あつき君の2
 ばいが14本。
 $14=7\times 2$ より、あつき君は7本。

(11) $2\text{L}=20\text{dL}$ $20\text{dL}\times 2=40\text{dL}$
 $100\text{mL}=1\text{dL}$ 40dL は1dLの40倍。
 よって、40はい。

(12) $2300-200=2100$ (円)
 辞書とずかんの値段の差は、辞書
 2100 円なので、右の図 ずかん
 よりずかんは2100円と さとし
 なる。
 $2100-200=1900$ (円)

2 (1) たくみ君が生まれたとき、みつる君は3才。
 たくみ君の10才の誕生日は、ちょうどその10
 年後。よって、 $3+10=13$ (才)

(2) たくみ君が生まれた年のお母さんの誕生日で、お
 母さんは31才になる。このとき、みつる君は3
 才のまま。 $32-31=1$ より、その日からちょ
 うど1年後なので、そのときのみつる君は
 $3+1=4$ (才)

3 (1) 10月2日は、9月の
 カレンダーが終わって 9月
 から、2日目。よって、
 右の図の⑦のところ。
 これは、木曜日。

日	月	火	水	木	金	土
.	①
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	.	⑦	.	.

(2) 8月23日は、8月30日と曜日が同じ。
 8月30日は、9月のカレンダーが始まる2日前
 なので、(1)の図の①のところ。
 これは、土曜日。

4 (1) 正方形の1辺は、 $2+9=11$ (cm)
 長方形⑦のたて+よこは $2+11=13$ (cm)
 よって、まわりの長さは $13+13=26$ (cm)

(2) (1)より、長方形④、⑤もたて+よこは13cm。

$13-9=4$ (cm) …④のよこ
 $11-4=7$ (cm) …⑤のよこ
 $13-7=6$ (cm) …⑥のたて
 $9-6=3$ (cm) …⑧のたて
 よって、右の図のようになる。
 $3+7=10$ (cm)
 $10+10=20$ (cm)

5 (1) 1つは5円玉。もう1つが10円玉だと、70
 円は10円玉7枚、5円は5円玉1枚、合わせ
 て8枚になる。もう1つが50円玉だと、50
 円は50円玉1枚、25円は5円玉5枚、合わ
 せて6枚になる。よって、6枚。

(2) 10円より少ない金額で枚数をもっとも少なく
 するために1円玉と5円玉の両方が必要なのは、
 6円、7円、8円、9円の4通り。
 同じような理由で、100円より少ない金額で
 10円玉と50円玉の両方が必要になる10円
 単位の金額は、60円、70円、80円、90
 円の4通り。よって、これらを組み合わせた
 $4\times 4=16$ (通り)となる。

6 (1) 最初の図から考える。図3で
 は、最も右のさいころの目の
 合計が9で、それ以外のさい
 ころの目の合計は6ずつになる。さいころが6こ
 のとき、目の合計は
 $9+6+6+6+6+6=39$ となる。

(2) 図1だと、最も上のさいころの目の合計が9で、
 それ以外のさいころの目の合計が4ずつ。
 図2だと、最も手前のさいころの目の合計が9で、
 それ以外のさいころの目の合計が8ずつ。
 図1でさいころが9このとき、 $9-1=8$ (こ)よ
 り、9に $4\times 8=32$ をたすことになる。 4×8
 は 8×4 なので、図2だと最も手前のさいころに、
 4こたすときに目の合計が同じになる。
 よって、 $1+4=5$ (こ)

(配点) ① ; 各5点×12 他 ; 各4点×10